

令和4年度事業報告

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

1 運営の概要

(1) コロナ禍及び燃料費等の諸物価高騰の財政運営

令和4年度は令和2年度から3年目のコロナ禍での活動を余儀なくされるとともに、燃料費等の諸物価高騰の中、厳しい運営を強いられた。しかし、コロナ禍の逆風は徐々に弱まり、市民生活がウイズコロナにシフトする中で、イベント面では徐々に来客回帰の傾向が見られてきた。

法人の財政状況は、直営施設「風のスタジオ」、指定管理施設「もりおか町家物語館」「宮古市民文化会館」とも利用料収入の面で回復しつつあるが、それを上回る燃料費の高騰等で、厳しさは昨年以上となっている。しかし、指定管理施設においては、市当局からの補填も充分ではなく、職員の「生活保障」や諸々の「業者への業務委託」についても影響を与えかねない状況である。

このような状況の対策として、昨年度に引き続き、文化庁の「子どもたちの伝統文化事業」(2年目)と「アートキャラバン事業」(3年目)の採択を受け、法人全体では大きな損失を生じさせず、辛うじて法人運営と職員雇用を守ることが出来た。

(2) 指定管理施設の運営

指定管理施設は、「もりおか町家物語館」「宮古市民文化会館」とも燃料費が高騰し、収支の悪化を招いた。宮古市は、電気料の増加分は一部補填される見込みだが、盛岡市は満額補填とならず、経常経費の支出状況が厳しい。

宮古市民文化会館は指定管理の要件となっている「みやこ市民劇」は、コロナ禍(第6波)で昨年2月公演予定が、本年5月に延期し実施できたほか、アーティストインレジデンス事業は本格的に始まった。

もりおか町家物語館は、大正蔵1階のショップ&カフェ事業が正式に指定管理業務に組み込まれた。昨年度の「松ぼっくりジェラート」の大人気は若干陰りを見せたが、沖縄フェア等の試みにより徐々に認知度はアップしてきている。しかし売り上げ目標額月平均100万に対して80万円程度と、2割の減収見込みであり、特にも冬季はジェラートを中心に売り上げが減少している。ただし、浜藤ホール等でイベント開催がある土日祝日は一定の売り上げがあることから、冬期間の平日を含めた販わいづくりが課題となっている。

(3) 本部の事業運営と風のスタジオ運営

本年度の企画制作事業は、コロナ禍対策として実施した文化庁の「アートキャラバン事業～アートライブいわて」と「子どもたちの伝統文化事業」を中心に展開し、指定管理施設の赤字分を辛うじて吸収できた。事業成果としても、アートキャラバンは「地域連携」「人材育成」「アーティストインレジデンス」に力を入れ、それぞれで目に見える成果を上げた。

また、新たに盛岡市から「こどもの芸術体験事業」の受託を受け、実施4ジャンルとも定員を超える参加者で好評だった。このため当初3年計画だった本事業は、一年延期して4年間事業となる見込みである。

但し、講師等の選定では「一部講師の経験不足」や「流派の非資格者登用」などの課題を残した。

これまで法人が力を入れてきた東日本大震災からの「文化芸術によるコミュニティづくり」は、令和4年度助成事業（県）不採択となり、震災復興支援事業の展開に不安を残したが、盛岡市の事業や「いわて文化振興プロジェクト事業」（真如苑助成）である程度補完できた。

風のスタジオの一般利用は、度重なるコロナの波によって、大きく利用者を減じてきていたが、4年度は増加に転じた。年間目標額250万円に対し、242万円で約97%と健闘した。予算見込み額180万円に対しては34%増となった。また、ダンサーによるストレッチワークやほか、舞台衣装講座、舞台写真講座など新たな講座の開設も出来た。

2 課題への対応等

もりおか町家物語館の数年続いている入館者の減少傾向とコロナ禍による利用減は、「お化け屋敷」の復活や新規事業の展開、観光庁事業への参加「着物de町家体験」で、立ち直しの兆しが見え始めた。大正蔵ショップ&カフェの経営は、漫然としていてはコロナ禍に立ち向かうことは難しいことから、これまでの事業展開や展示企画の見直しを行い、一定の成果を得たが、売上目標額の達成は出来なかった。周辺の地域行事も盛岡まち並み塾等の活動が低迷し、物語館事業とのリンクが出来にくい状況であったが、他団体の意欲的な活動や、主催事業である古本市の盛況、物語館のサポーターともなる絵本プロジェクトの協力等の明るい兆しが見えた。

また、法人の人材育成と部署間連携も課題となっている。制作事務、舞台技術等のノウハウ習得とコミュニケーション能力の開発による「法人全体のチームワーク向上」が求められる。

今年は「今年行くべき町、世界の52市の第2位」に盛岡市が選ばれる嬉しいニュースに躍った。国の文化観光推進法の成立もあり、今後は、より一層、文化と観光の連携が求められる。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業概要	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
1 情報発信事業	1 HPの運営	岩手のアーツ情報の紹介。FB、Twitterも併用(本部及び指定管理施設の相互リンク)	通年	全域	3名	FB・Twitter 約25,000 ビュー	42
	2 「風の通信」発行(毎月発行)	もりおか町家物語館通信と共同製作とする。主催事業紹介とコラム等。リレーエッセイも掲載。(HPにも同時掲載)	通年	全域	2名	会員及び利用者 約1,000名	39
2 人材育成事業	1 チャレンジシアター	若手及び新たな企画を提携公演(利用料35%引)応募なしのため実施しなかった。	—	—	—	—	—
	2 次世代育成事業	○東京や県内から経験豊かな舞台スタッフを招き、舞台スタッフのワークショップ(舞台技術、舞台衣装、舞台写真)を実施。	5~3月	全域	2名	参加者のべ26名	—
		○アーツライブいわて事業での舞台スタッフ等の養成を実施。	6~1月	全域	2名	参加者6名	—
	○みやこジュニアアンサンブルやみやこ子ども劇団デイジーの育成。 ※事業費は「3-4 宮古市民文化会館企画事業」に合算	通年	宮古	2名	参加者・観客 総数 1,160名		
	3 サポート	風のスタジオにて舞台技	5月	盛岡	1名	参加者	0

	ター研修	術講習会を2回実施した。	9月			のべ15名	
	4 文化振興プロジェクト事業	真如苑の助成で、文化支援ネットワークがプログラム編成し、音楽・美術・演劇・文学・映像の各分野を支援。旋風の劇場、宮古・二戸演劇交流、いわてフィル定期演奏会、三陸太鼓フェス、朗読劇公演ワークショップ等を行った。	通年	岩手県内	4名	参加者・観客総数 799名	3,256
	5 みやこ市民劇ファクトリー事業	第4回みやこ市民劇の実施と、そのためのスキルアップを目指す自主公演及び文化ボランティア事業（宮古市民文化会館事業）※事業費は「3-4 宮古市民文化会館企画事業」に合算。	通年	宮古	1名	のべ参加人数 534名	—
	6 職員・会員研修	特に新採用職員を対象に法人のミッションや業務内容などの基礎的な知識や「制作業務の基礎知識」について研修を実施した。	随時	盛岡	2名	参加者10名	0
3 企画制作事業	1 朗読劇	○アーツライブいわて事業「街なかアーツライブ盛岡」にて、「一人芝居・一人語りフェス」として実施。	9月	盛岡	3名	観客総数 165名	1,655
		○盛岡市震災を語り継ぐ事業「あの日から」朗読劇を、市民公募の出演者により3作品を上演した。	3月	盛岡	3名	観客総数 171名	659
		○県内のアナウンサーが出演し、朗読劇「絵本が紡いだ絆と希望」を上演。	3月	盛岡	1名	観客総数 83名	348

	2 風のスタジオ企画事業（朗読劇を除く）	○風のスタジオ企画運営・旋風の劇場 vol.4「高校演劇部顧問と生徒のための課外演劇部」実施。 ○アーツライブいわて事業での地域連携プログラムとして「語りと歌で綴る田中館愛橘物語」の実施。	12月	盛岡	1名	公演総観客数 68名	330
			1月	盛岡 二戸	3名	公演総観客数 473名	3,689
	3 もりおか町家物語館企画事業	○MACHIYART2022 盛岡彫刻シンポジウム、エニナルモリオカ、盛岡市所蔵作品展ほか展示企画実施。 ○「町家のお化け屋敷」実施。 ○アーツライブいわて事業「IWATE AIR/AIR 旭堂南湖講談会」の実施。 ※事業費は「5-2 指定管理事業 もりおか町家物語館」に合算。	9月 ～2月	盛岡	3名	展示観客数 41,431名	—
			7～8月	盛岡	7名	観客数 2,931名	
			1月	盛岡	2名	観客数 68名	
	4 みやこ市民文化会館企画事業（学校及び一般鑑賞事業等を除く）	○アーティスト・イン・レジデンス事業『三陸 AIR』 ○コミュニティシアター事業（コンサートキャラバン 2022、みやこ市民劇フォローアップ） ○ジュニアカンパニー事業（次世代育成と再掲） ほか	2月 3月	宮古 沿岸	4名	参加者・観客数 186名	—
			4～2月	宮古	2名	総観客数 655名	
			通年	宮古	2名	総観客数 977名	
	5 創造及びコロナ禍対策企画	「アーツライブいわて」事業の展開 事業内容： ○街なかアーツライブ盛岡	6月～ 1月	岩手 県内	6名	参加者数（出演者、観客数等）1,584名	36,615

		<p>○のだむら星空映画祭</p> <p>○IWATE AIR/AIR（地域資源活用型）</p> <p>○IWATE AIR/AIR（地域課題対応型）</p> <p>○アーツライブイン二戸</p> <p>○アーツライブイン盛岡</p> <p>○アーツライブイン北上</p> <p>『あなたはわたしの物語』</p>					
4 鑑賞事業	1 風のスタジオ企画事業（招聘・提携）	<p>○（提携）横浜ボートシアター『極楽金魚』『月夜のけだもの』</p> <p>○（提携）グループK『ボクサー』</p>	7月 11月	盛岡 盛岡	1名	観客数 27名 観客数 97名	0
	2 もりおか町家物語館企画事業（招聘・提携）	—	—	—	—	—	—
	3 宮古市民文化会館芸術文化事業（鑑賞）	<p>○学校鑑賞事業4本実施</p> <p>○一般鑑賞事業6本実施、（みやこ市民劇第3回公演「さらば義経」含む）</p> <p>○共催公演事業3本、みやこ復興寄席等実施</p> <p>○その他芸術文化事業 市民文化祭、郷土芸能祭、市民芸能まつり、岩手芸術祭巡回美術展</p>	通年随時	宮古	4名	観客数 3,687名 観客数 2,035名 観客数 768名 入場者数 6,095名	—
	4 一般鑑賞事業	「ARTS for the future」いわてフィルハーモニー・オーケストラ第10回定期演奏会の実施	12月	北上	5名	観客数 423名	4,763

5 施設管理運営事業	1 風のスタジオ、風のアトリエの管理運営	○風のスタジオ 利用日数 165 日 (前年 140 日) 風のアトリエ 利用日数 135 日 (前年 85 日) リハーサル室 利用日数 138 日 (前年 188 日) 利用料金 2,384,016 円 (前年 1,634,171 円)	通年	盛岡	2 名	利用者数 3,288 名	4,670
	2 指定管理事業「もりおか町家物語館」	浜藤ホール利用日数 177 日 (前年 102 日) 利用料金 1,029,620 円 (前年 575,380 円) 企画事業各種 (詳細は「もりおか町家物語館事業」を参照)	通年	盛岡	8 名	来館者数 61,396 名	50,766 (1,869)
	3 指定管理事業「宮古市民文化会館」	大ホール利用日数 156 日 (前年 110 日) 利用料金 8,866,880 円 (前年 6,214,840 円) 企画事業各種 (詳細は「宮古市民文化会館事業」を参照)	通年	宮古		利用者数 38,579 名	106,716 (20,461)
	4 その他の施設の指定管理者応募	特になし	通年	県内 全域	—	—	—
復興教育普及交流事業 6	1 子ども演劇、ジュニアオーケストラの育成・支援	○子ども劇団みやこデイジー公演及び活動サポート。(宮古市民文化会館事業) ○「ジュニアアンサンブル	通年	宮古	1 名	参加者 9 名のべ参加者及び公演時観客数 286 名	—
			通年	宮古	1 名	参加者 20 名	

		みやこ」公演および活動サポート (宮古市民文化会館事業) ※事業費はそれぞれ「宮古市民文化会館企画事業」に合算。				のべ参加者及び公演時観客数 874 名	
2	学校及び地域への講師派遣ほか	コロナ禍により派遣事業は実施できなかった。	—	—	—	—	—
3	いわて文化支援ネットワーク事業	県補助事業の不採択により未実施。	—	—	—	—	—
4	文化芸術コーディネート事業	県からの委託事業(盛岡広域圏、沿岸広域圏) 県民の文化芸術活動支援のアドバイスやコーディネート、各地域にてネットワーク会議などを実施。	通年	盛岡沿岸	3名	約 312 件	21
5	風の公民館事業	「風の公民館事業」 ○風のスタジオ 「ダンサーが教えるストレッチワーク」 ○もりおか町家物語館 「町家弦楽アンサンブル」 「お酒の学校ワイン編」 「お茶の学校」開催。	6～3月	盛岡	2名	受講者のべ 98 名	103
			5～2月	盛岡	4名	受講者 44 名	571
6	地域づくり事業	○もりおか町家物語館地域連携事業 お盆の黒川さんさ門付け(旧暦のひな祭り、てどらんごは中止) ○「浜藤ブックマーケット」実施	—		—	—	—
			5・10・2月	盛岡	1名	来場者 1,745 名	35

	7 地域間交流及び地域の文化芸術活動支援事業	○宮古・二戸演劇交流事業の推進 ○宮古伝統芸能発掘事業 ○二戸市民文士劇支援事業（本年度は共催と演出等の派遣）	通年	二戸	1名	—	—
	8 子供たちの文化芸術体験事業	○「子供たちの伝統文化の広場づくり事業」（文化庁事業：江戸糸あやつり人形芝居、和楽器、茶道、日本画、さんさなど）の実施。	7～2月	盛岡 宮古 二戸	5名	参加者 1,625名	24,565
		○「芸術・文化体験事業」（盛岡市事業：ピアノ、彫塑、など）の実施。	11～ 2月	盛岡	5名	参加者 804名	1,347
	9 役員・会員等の文化芸術活動のサポート等	役員・会員等の指導者や出演者・スタッフとしての派遣要請にかかるサポート等。今年度は活動なし。	—	—	—	—	—
7 そ の 他	1 施設喫茶店の運営、ミュージアムグッズ等の製作販売及び大正蔵の運営	旧もりおか町家物語館内喫茶店「DOMA」をコミュニティスペース等としての活用。 大正蔵での展示等各種イベント運営及び物販、喫茶の展開。ミュージアムグッズの販売。 母屋ではプレイガイドの運営を行う。 大正蔵収入実績額 9,978,439円	通年	盛岡	4名		13,033
	2 + O N L I N E	オンライン関係事業等を行いDX促進を展開する。	通年	宮古			66
	3 文化芸	理事長が中心となり県及	通年	県内	1名	岩手県及び盛	0

術推進計画の策定支援と提言	び市町村の文化施策に対するサポート及び提言等を行った。					岡市等	
4 各種共催事業の推進	三陸国際芸術祭の共催と実行委員会参加（継続）、宮古市民文化祭、岩手芸術祭映像フェスティバルなどの運営協力。 岩手県北バスとの提携により「町家 de 着物体験事業」の実施。	通年 2月 10月 11月	県内 宮古 盛岡 盛岡	2名 2名 3名		着付け体験 35名	0 0 756
5 法人運営事業	○企画総務部と総合運営部の2部体制で、事業運営の効率化と風のスタジオ機能の充実。 ○職員研修の強化（全職員のコミュニケーション能力や制作能力の向上、舞台技術の習得）。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止対策にかかる諸事業の展開。 ○可能な職種について、在宅勤務及びWEB会議の推奨。 ○盛岡及び宮古におけるアーティストインレジデンス施設の獲得と維持。	通年	県内	3名			0

(2) その他の事業（収益事業）

特になし。